

株式会社 大福鉄工所

日 2020年10月22日

人 代表取締役社長 大福豊氏

1. 創業・歴史

創業：戦後すぐ昭和23年（1948年）、先代社長（豊氏の父上）が現在地で創業、プレナー（平けずり）加工を始めた。現在、創業70年である。

創業3年目、久保田鉄工所から固いものを削ってくれと言われ、鉦山機械のチップを使って加工。それ以降、昭和20年～30年代は久保田の仕事がほとんどだった。耐熱鋼（ニッケル、クロム）の加工

昭和40年代から、他の取引先も増えた

豊氏、大卒23歳で入社（工学部機械学科卒）

昭和55年、28歳で社長就任。以後40歳ぐらいまで社長兼現場で加工に従事。

2. 企業概要

資本金1000万円

従業員12名（1名を除きすべてベトナム人、大学工学部卒

年商1億5000万円

3. 主要製品・顧客

クボタ：プラントの耐熱部品、パイプ

日本スピンドル（尼崎）：車のホイール成型機の部品、クーリングタワーなどの部品

OKK（伊丹）：工作機械の部品など、

すべて、待ち受注。1品～20個程度、大型も多い（径2～3m）

4. 独自技術、企業の特徴

製缶、溶接、機械加工1式ができる。耐熱鋼、耐食鋼、304,316ステン、インコネル、チタン

部品加工に70年の実績があり、各種の外注先がそろっている。だから、多様な部品加工に応じられる。

ISO9100：2015年取得

設備：門型マシニング、5面マシニング、NC旋盤（NC装置は内作）他

5. OWO とのかかわり

航空機部品に関心を持った。自分から連絡して参加、7～8年になる。

工場見学によく参加、参考になる。

6. 航空部品産業への取り組み

まだ未経験だが、車の部品を作る機械の部品製作ができる。航空機分野でもそのような可能性があると考えている。

7. OWOへの期待・要望

以前のように、航空機メーカーからの見積もり紹介を実施してほしい。